

# V 調查票



# 平成 25 年度 板橋区 区民意識意向調査

## ご協力をお願い

日ごろから、板橋区政にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、板橋区では、平成 18 年度から平成 27 年度までを計画期間とする「板橋区基本計画」に基づいて、区民生活の充実に向けた様々な施策を推進しています。

また、平成 25 年度が現基本計画を締めくくる 3 か年の初年度にあたることから、今日的な課題に対応する実施計画と行財政改革計画とを一つに束ね、将来を見据えた次期基本計画へとつなげていく中長期的な取り組みを網羅した総合計画として「いたばし未来創造プラン」を策定し、持続的な発展を可能とする区政経営に取り組んでいます。

このたび、これら計画の推進及び平成 28 年度を初年度とする新たな基本計画の策定に向けて、区民のみなさまが、現在の区の施策や区政運営に対してどの程度満足されているか、区の現状や将来像についてどのようにお考えなのかなどについて把握するため、アンケート調査を行わせていただくこととしました。

この調査は、板橋区にお住まいの満 20 歳以上の方から、無作為に 3,000 名を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。ご回答は無記名でお願いし、調査結果はすべて統計的な数値として取りまとめた上で公表されますので、個人情報に関わる内容が公表されることは、一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、このアンケート調査の趣旨をご理解いただき、是非ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年 9 月  
板橋区長 坂本 健

## ご記入に際してのお願い

### 1 アンケート調査票の記入方法

- ◆封筒の**あて名に表示のあるご本人様**がご記入ください。ただし、事情により、ご本人様のご記入が難しい場合には、ご家族の方が代わりにご記入いただいても構いません。
- ◆ご回答は、質問ごとの説明にしたがい、このアンケート調査票の次ページ以降に**直接ご記入**ください。選択肢の中からあなた様ご自身のお考えに最も近い番号を選び、質問文に示された数の範囲内で**番号に○印**をつけ、または**所定の欄に番号を記入**してください。

### 2 アンケート調査票の返送方法

- ◆誠に勝手なお願いですが、ご記入いただいたアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**10月7日（月）まで**に、郵便ポストに投函してください。
- ◆返信用封筒に切手は不要です。また、**お名前・ご住所をご記入いただく必要はありません**。
- ◆このアンケート調査の集計作業につきましては、**(株) エスピー研**に委託しておりますので、返信用封筒のあて先が**(株) エスピー研**となっている旨をご了承願います。

### 3 本調査に関するお問い合わせ先

板橋区 政策経営部 政策企画課 政策第二グループ  
所在地：〒173-8501 東京都板橋区板橋 2-66-1 (板橋区役所 北館 6 階)  
電話：03-3579-2013 (直通) FAX：03-3579-4211  
Eメール：sk-sseisaku2@city.itabashi.tokyo.jp

● **あなたご自身のことをお伺いします** ●

問1 次の項目について、該当するものを、それぞれ1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

ア あなたの性別は、	1 男性	2 女性	
イ あなたの年齢は、	1 20歳代	3 40歳代	5 60歳代
	2 30歳代	4 50歳代	6 70歳以上
ウ あなたがお住まいの地域は、 ※( )内は地域センター名です。	1 板橋地域(板橋・熊野・仲宿・仲町・富士見) 2 常盤台地域(大谷口・常盤台・桜川) 3 志村地域(清水・志村坂上・中台・前野) 4 赤塚地域(下赤塚・成増・徳丸) 5 高島平地域(蓮根・舟渡・高島平) 6 わからない( ) ↑○○町または○丁目-○○番までお書きください。		
エ あなたの職業は、	1 会社員・公務員	4 主婦・主夫	7 無職
	2 自営業・自由業	5 学生	8 その他
	3 会社役員	6 アルバイト・パート	( )
オ あなたのお宅の世帯の構成は、	1 単身世帯	4 二世帯同居(親と同居)	
	2 夫婦のみ	5 三世帯同居	
	3 二世帯同居(子と同居)	6 その他 ( )	
カ あなたは板橋区にお住まいになって通算で何年になりますか。	1 1年未満 2 1年以上5年未満 3 5年以上10年未満 4 10年以上20年未満 5 20年以上 6 生まれたときから ⇒問2へ		

↓

(「1」～「5」と回答した方へ)	1 東京23区内(板橋区を除く)	3 埼玉県内
キ あなたは、板橋区に来られる直前にどちらにお住まいでしたか。	2 東京都内の他市町村内	4 千葉県・神奈川県内
		5 その他(海外を含む)

● **区での住み心地に関してお答えください** ●

問2 板橋区はあなたにとって、どの程度住みやすいですか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1 住みやすい	3 どちらともいえない	5 住みにくい
2 まあまあ住みやすい	4 あまり住みやすくない	

問3 あなたは今後も板橋区に住み続けたいとお考えですか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1 今後も区内に住み続けたい

2 区外に移り住みたい

(問3で「1 今後も区内に住み続けたい」と回答した方へ)

▶問3-1 そう思った主な理由は何ですか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。回答後、3ページをお読みのうえ、問4へお進みください。

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1 通勤・通学に便利のため                | 9 行政サービスが充実しているため    |
| 2 自然環境に恵まれているため              | 10 災害(震災や水害)に強く安全なため |
| 3 子育てがしやすい環境であるため            | 11 治安が良く安心して暮らせるため   |
| 4 子どもの教育環境が充実しているため          | 12 医療・福祉が充実しているため    |
| 5 消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため | 13 歴史・文化等に魅力を感じるため   |
| 6 不動産や家賃が適当な価格の物件があるため       | 14 学校や仕事、家族の都合がよいため  |
| 7 公共施設が整備されているため             | 15 その他               |
| 8 道路などの都市基盤が整備されているため        | (具体的に )              |

(問3で「2 区外に移り住みたい」と回答した方へ)

▶問3-2 そう思った主な理由は何ですか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。回答後、問3-3にお進みください。

板橋区よりも区外の方が、

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1 通勤・通学に便利のため                | 9 行政サービスが充実しているため    |
| 2 自然環境に恵まれているため              | 10 災害(震災や水害)に強く安全なため |
| 3 子育てがしやすい環境であるため            | 11 治安が良く安心して暮らせるため   |
| 4 子どもの教育環境が充実しているため          | 12 医療・福祉が充実しているため    |
| 5 消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため | 13 歴史・文化等に魅力を感じるため   |
| 6 不動産や家賃が適当な価格の物件があるため       | 14 学校や仕事、家族の都合がよいため  |
| 7 公共施設が整備されているため             | 15 その他               |
| 8 道路などの都市基盤が整備されているため        | (具体的に )              |

(問3で「2 区外に移り住みたい」と回答した方へ)

▶問3-3 板橋区外に住むとしたら、どちらをお考えですか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。回答後、3ページをお読みのうえ、問4へお進みください。

- |                  |             |              |
|------------------|-------------|--------------|
| 1 東京23区内(板橋区を除く) | 3 埼玉県内      | 5 その他(海外を含む) |
| 2 東京都内の他市町村内     | 4 千葉県・神奈川県内 |              |

● **施策に対する満足度・重要度をお答えください** ●

区では、おおむね 20 年後の将来像を「いきいき暮らす緑と文化のまち“板橋”」と定めています。そして、この将来像を実現するため、「板橋区基本計画」の中で3つの基本目標を掲げ、これらの実現に向けた様々な施策を推進しています。

**板橋区のめざす将来像**

— **いきいき暮らす緑と文化のまち“板橋”** —

**将来像の実現に向けた3つの基本目標**

基本目標Ⅰ のびやかに生きがいをもって暮らすまち

基本目標Ⅱ こころ豊かなふれあいと活力のあるまち

基本目標Ⅲ 安全で安心なうるおいのあるまち

基本構想、基本計画およびその実施計画である「いたばし未来創造プラン」の関係は以下の図のとおりです。



次ページ以降では、これらの施策に対するあなたの評価をお聞きします。

それぞれの質問ごとに、現状の満足度（現在、その施策に対してどのくらい満足しているか）について、あなたの目ごらの印象に最も近いものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。それらの施策に印象・評価をお持ちでない場合は、「9. わからない」に○印をつけてください。

※「板橋区基本計画」の詳しい内容は、別紙1をご覧ください。

問4 「板橋区基本計画」に掲げる3つの基本目標達成のための施策の方向（実現したい姿）のうち、以下の項目について、前ページ下段に示した回答方法に従って、それぞれの満足度をお答えください。

施策の方向（実現したい姿）		満足	まあ満足	いえない どちらとも	やや不満	不満	わからない
基本目標Ⅰ のびやかに生きがいをもって暮らすまち	回答例 ⇒	1	2	3	4	5	9
	(1) 子育てしやすい環境が整っている	1	2	3	4	5	9
	(2) 子どものための福祉サービスが整っている	1	2	3	4	5	9
	(3) 健康で人間性豊かな子どもが育っている	1	2	3	4	5	9
	(4) 休日・夜間も含め、安心して医療が受けられる	1	2	3	4	5	9
	(5) 家庭・学校・地域が協力して子育てをしている	1	2	3	4	5	9
	(6) 健康づくりに取り組みやすい	1	2	3	4	5	9
	(7) 生涯学習に取り組みやすい	1	2	3	4	5	9
	(8) スポーツに取り組みやすい	1	2	3	4	5	9
	(9) 住居の広さが十分である	1	2	3	4	5	9
	(10) 高齢者のための福祉サービスが整っている	1	2	3	4	5	9
	(11) 障がい者のための福祉サービスが整っている	1	2	3	4	5	9
	(12) 高齢者が仕事や地域活動に参加できる	1	2	3	4	5	9
	(13) 障がい者が仕事や地域活動に参加できる	1	2	3	4	5	9
	(14) 家事・育児・介護を男女が協力して行っている	1	2	3	4	5	9
	(15) 男女が平等に社会活動に参画することができる	1	2	3	4	5	9
	(16) 働きやすい環境が整っている	1	2	3	4	5	9
(17) 消費生活のトラブルが少ない	1	2	3	4	5	9	
基本目標Ⅱ こころ豊かなふれあい	(18) 地域社会活動が活発で参加しやすい	1	2	3	4	5	9
	(19) 地域のボランティア活動（町会・自治会活動を含む）に気軽に参加できる	1	2	3	4	5	9
	(20) 魅力のある商店街が身近にある	1	2	3	4	5	9
	(21) 地域の工業に活力がある	1	2	3	4	5	9
	(22) 都市農地が保全され、地産地消が促進されている	1	2	3	4	5	9
	(23) 社会ニーズに合った新しいビジネスが生まれている	1	2	3	4	5	9
	(24) 多くの人が集まる名所・旧跡やイベントがある	1	2	3	4	5	9

生涯学習とは・・・年齢に関係なく生涯にわたり、一人ひとりが必要に応じて、自分にあった場や機会、方法などを選んで行う学び。図書館の利用や講座の受講、仲間とのサークル活動などはその例です。

		満足	まあ満足	どちらとも いえな	やや不満	不満	わからない
施策の方向（実現したい姿）							
と活力のあるまち	(25) 伝統芸能が受け継がれている	1	2	3	4	5	9
	(26) 歴史的文化財が保存・活用されている	1	2	3	4	5	9
	(27) 文化芸術に親しみやすい	1	2	3	4	5	9
	(28) 外国の人々との交流が活発に行われている	1	2	3	4	5	9
	(29) 平和の大切さを身近に感じられる	1	2	3	4	5	9
基本目標Ⅲ 安全で安心な暮らしのあるまち	(30) 防災意識が高い	1	2	3	4	5	9
	(31) 治安が保たれている	1	2	3	4	5	9
	(32) 災害・犯罪・感染症等様々な危機に対応できる体制となっている	1	2	3	4	5	9
	(33) 衛生上の不安なく食品が入手できる	1	2	3	4	5	9
	(34) 自転車利用のマナーが守られている	1	2	3	4	5	9
	(35) 地震の時、火災の延焼や建物倒壊等の不安が少ない	1	2	3	4	5	9
	(36) 大雨が降っても水害の不安が少ない	1	2	3	4	5	9
	(37) 緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている	1	2	3	4	5	9
	(38) 憩える公園や緑地が整備されている	1	2	3	4	5	9
	(39) 空気や水がきれいで安心して生活できる	1	2	3	4	5	9
	(40) まちなみや景観が美しい	1	2	3	4	5	9
	(41) 省エネルギーの取り組みが進んでいる	1	2	3	4	5	9
	(42) ごみ出しのルール（分別・曜日・場所等）が守られている	1	2	3	4	5	9
	(43) リサイクルが進んでいる	1	2	3	4	5	9
	(44) 身近なまちが快適で魅力のある生活空間である	1	2	3	4	5	9
	(45) 電車やバスが便利に利用できる	1	2	3	4	5	9
	(46) 身近な道路に補修等の必要がなく安全である	1	2	3	4	5	9
	(47) 身近な道路を安全に歩行できる	1	2	3	4	5	9
	(48) バリアフリーのまちづくりが進められている	1	2	3	4	5	9
	(49) インターネットを通じて必要な区政情報の提供が行われている	1	2	3	4	5	9
(50) 区が保有する個人情報を守られている	1	2	3	4	5	9	
(51) 区政に関する情報が公開されている	1	2	3	4	5	9	

バリアフリーとは…高齢者や障がい者などの生活に支障となる障害を取り除こうという考え方。道や床の段差をなくしたり、階段に代えてゆるやかな坂道（スロープ）をつくることなどはその例です。

施策の方向（実現したい姿）		満足	まあ満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	わからない
計画推進のために	(52) まちづくりや区の計画づくりへの参画機会が充実している	1	2	3	4	5	9
	(53) 区政に区民の声が反映されている	1	2	3	4	5	9
	(54) 区の職員の対応が良い	1	2	3	4	5	9
	(55) 板橋区に愛着を感じる	1	2	3	4	5	9
	(56) 板橋区が他の自治体に比べて誇れると感じる	1	2	3	4	5	9

（問4の「(55) 板橋区に愛着を感じる」「(56) 板橋区が他の自治体に比べて誇れると感じる」で「1」または「2」と回答した方へ）

▶問4-1 「愛着を感じる」「誇れると感じる」理由を5つまで選んで下の表に番号を記入してください。（順不同） 回答後、問5へお進みください。

1 自然環境に恵まれているため	12 治安が良く安心して暮らせるため
2 通勤・通学に便利なため	13 災害（震災や水害）に強く安全なため
3 有名な祭り・イベントがあるため	14 医療や福祉が充実しているため
4 町会その他の団体活動が活発であるため	15 子育てがしやすい環境であるため
5 著名人などにゆかりがあるため	16 子どもの教育環境が充実しているため
6 優れた文化活動や伝統芸能があるため	17 長年住んでいるため
7 知名度がありメディアでよくとりあげられるため	18 家族や友人・知人がいるため
8 特色のある産業や有名な企業があるため	19 区のイメージがよいため
9 にぎわいのある商店街や店舗があるため	20 その他
10 公共施設が整備されているため	(具体的に )
11 道路などの都市基盤が整備されているため	
愛着を感じる理由 ⇒	
誇れると感じる理由 ⇒	

問5 今後、区が重点的に力を入れるべきだと思う分野を、重要だと思う順に5つまで選んで下の表に番号を記入してください。

1 子育て	10 男女平等	19 市街地整備・まちづくり			
2 学校教育	11 労働	20 緑・公園・景観			
3 健康・衛生	12 消費生活	21 環境・清掃・リサイクル・エネルギー			
4 生涯学習・社会教育	13 コミュニティ活性化	22 道路・交通			
5 生涯スポーツ	14 産業振興	23 情報公開			
6 住宅施策	15 文化芸術	24 区民参加			
7 高齢者社会参加	16 国際交流	25 行財政改革			
8 高齢者介護	17 防災				
9 障がい者福祉	18 防犯				
順位	1位	2位	3位	4位	5位

● **行政サービスと住民負担のバランス**に関してお答えください ●

現在、日本全体で急速に少子高齢化が進んでおり、税や社会保険料を負担する人が減ることが予測されます。一方、学校など公共施設の改築・改修需要の到来による財政負担の増大や高齢化等に伴う社会保障費の急増など、区政運営上、長期的な視点に立って適切に対応することが迫られている課題が多く存在しています。また、助け合いや支え合いができる地域社会が維持できなくなったり、労働力人口として経済活動を支える年齢層（生産年齢人口）が少なくなったりすることも考えられます。このように社会は大きな転換期を迎えており、今後、持続的な発展を可能とする区政をめざしていく必要があります。

こうした状況を踏まえ、今後の板橋区における行政サービスと負担のあり方に関して、以下の質問にご回答ください。

問6 あなたは、日頃の行政サービスについて、税金に見合ったサービスが受けられていると感じられますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1 感じられる	3 あまり感じられない	5 わからない
2 まあまあ感じられる	4 感じられない	

問7 あなたは、区役所などの行政サービスと住民負担のバランスとして、どのような形がふさわしいと考えますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1 行政サービスを今以上に拡大し、それに応じて区民の負担も増加する
2 行政サービスは現状を維持し、負担する人が減る分、個々の区民の負担が増加する
3 個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する
4 行政サービスを今より減らし、区民の負担も軽減する
5 その他（具体的に

問8 今後、区の持続的な発展を可能とするためには、生産年齢人口を増やし定住化を促す施策として、区民生活の質の向上につながる魅力の創出や将来の活力に向けた全体像を示すとともに、「選択と集中」による成長戦略を総合的に展開していくことが不可欠となってきます。そのような状況にあって、重点的に力を入れて行政サービスを提供していくべき分野と、縮小もやむを得ない分野を選ぶとしたらどのような分野だと思いますか。あなたのお考えに近いものをそれぞれ5つまで選び、下の表に番号を記入してください。（順不同）

1 子育て	10 男女平等	19 市街地整備・まちづくり
2 学校教育	11 労働	20 緑・公園・景観
3 健康・衛生	12 消費生活	21 環境・清掃・リサイクル・エネルギー
4 生涯学習・社会教育	13 コミュニティ活性化	22 道路・交通
5 生涯スポーツ	14 産業振興	23 情報公開
6 住宅施策	15 文化芸術	24 区民参加
7 高齢者社会参加	16 国際交流	25 行財政改革
8 高齢者介護	17 防災	
9 障がい者福祉	18 防犯	
力を入れるべき分野 ⇒		
縮小もやむを得ない分野 ⇒		

● **板橋区職員に期待する能力・資質** に関してお答えください ●

問9 あなたは最近1年間で、区役所の窓口を利用したり電話で問合せをしたりするなどして職員と接する機会がありましたか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1 接する機会があった

2 接する機会がなかった⇒9ページの問10へ

(問9で「1 接する機会があった」と回答した方へ)

▶ 問9-1 板橋区職員の能力・資質について、現在の状況をどのように思いますか。次のア～ソについて、該当するものをそれぞれ1つずつ選び、番号に○印をつけてください。回答後、問10へお進みください。

	そう思う	まあ そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう 思わない	わからない
回答例 ⇒	1	2	3	4	5	9
(ア) 自分の行動・発言に責任を持っている	1	2	3	4	5	9
(イ) 区民の立場に立って物事を考えている	1	2	3	4	5	9
(ウ) コスト意識を持っている	1	2	3	4	5	9
(エ) 高い倫理観を持ち、法令を遵守している	1	2	3	4	5	9
(オ) 誰に対しても公平に接している	1	2	3	4	5	9
(カ) 積極的に職務に取り組んでいる	1	2	3	4	5	9
(キ) 親切・丁寧に対応している	1	2	3	4	5	9
(ク) 相手の意図を理解し、適切な行動ができている	1	2	3	4	5	9
(ケ) 事務処理に関して迅速な対応ができている	1	2	3	4	5	9
(コ) その場に応じた柔軟な対応ができている	1	2	3	4	5	9
(サ) 誠実な態度で職務にあたっている	1	2	3	4	5	9
(シ) 職務に関する十分な知識を持っている	1	2	3	4	5	9
(ス) 区の発展に必要な施策を立案できている	1	2	3	4	5	9
(セ) 分かりやすく説明ができている	1	2	3	4	5	9
(ソ) もてなしの心を持っている※	1	2	3	4	5	9

※「もてなしの心」とは相手の立場、目線に立って心温まる対応をすること(相手に対し誠意を持って敬意、気遣う心のこと)です。板橋区人材育成基本方針の中では、職員の基本的な行動規範を「『もてなしの心』による区政経営の推進」と定めています。

問10 あなたが特に求める板橋区職員の姿は何ですか。該当するものを3つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1 自分の行動・発言に責任の持てる職員    | 8 相手の意図を理解し、適切な行動ができる職員 |
| 2 区民の立場に立って物事を考えられる職員  | 9 事務処理に関して迅速な対応ができる職員   |
| 3 コスト意識を持っている職員        | 10 その場に応じた柔軟な対応ができる職員   |
| 4 高い倫理観を持ち、法令を遵守している職員 | 11 誠実な態度で職務にあたる職員       |
| 5 誰に対しても公平に接する職員       | 12 職務に関する十分な知識を持っている職員  |
| 6 積極的に職務に取り組む職員        | 13 区の発展に必要な施策を立案できる職員   |
| 7 親切・丁寧に対応する職員         | 14 分かりやすく説明のできる職員       |

### ● 板橋区の公共施設のあり方に関してお答えください ●

板橋区では高度成長期に人口の急激な増加に伴い多くの公共施設を整備してきましたが、その多くが30年以上を経過し、改築や大規模改修の時期を迎えています。そのため、平成24年度から公共施設の現況把握・分析を始め、本年5月には、施設の計画的な整備と将来需要を見通した最適化に向け、施設の適正配置を行うための基本方針として「公共施設等の整備に関するマスタープラン」（以下、「マスタープラン」）を策定しました。

そこで、今後の板橋区の公共施設のあり方に関して、以下の質問にご回答ください。

※マスタープランの詳細な内容は、別紙2をご覧ください。

問11 過去1年間に板橋区の集会施設、体育施設、文化・社会教育施設、図書館など、多くの区民が利用できる公共施設を利用しましたか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                  |                   |                  |
|------------------|-------------------|------------------|
| 1 月に1回以上利用した     | 3 半年に1回程度利用した     | 5 過去1年以内は利用しなかった |
| 2 2～3か月に1回程度利用した | 4 過去1年以内に1回程度利用した |                  |

問12 板橋区の公共施設の量は充足していると思いますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |              |              |         |
|--------------|--------------|---------|
| 1 充足している     | 3 あまり充足していない | 5 わからない |
| 2 まあまあ充足している | 4 充足していない    |         |

問13 今後、公共施設の維持や改修、改築に必要な財源が不足してくることが予測されており、今あるすべての公共施設を将来にわたって維持することが難しくなることが考えられます。板橋区では、マスタープランにおいて「施設総量の抑制」を基本方針の一つに掲げていますが、公共施設の総量（施設数や面積）を現在よりも抑制していくことに対するあなたのお考えに最も近いものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |   |
|---|
| 1 公共施設は足りないと思うので、減らすことよりも増やすことを考えるべきである                       |
| 2 今あるすべての公共施設は必要なものなので、現状維持を優先に考えて寿命を迎えたものはそのままの用途で建て替えるべきである |
| 3 公共施設の役割や効果を評価して、区民ニーズや財政状況に見合った数まで減らすべきである                  |
| 4 その他（ )  |
| 5 わからない   |

問14 板橋区ではマスタープランにおいて、施設の建て替え時に集約化・複合化によって行政サービスを維持しながら、公共施設の総量を抑制したり、計画的に管理・保全を行って施設の耐用年数を延ばすなどの取り組みによって、施設にかかる経費を約2割程度削減していく必要があると考えています。公共施設に対する今後の方策として、あなたが適切と考えるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 公共施設の建て替えは、耐用年数を経過した施設や統廃合による場合のみ行い、建て替え経費を軽減する           |
| 2 | 施設の長寿命化を図り、耐用年数を延伸することで改築周期を伸ばし、建て替え・改修経費や維持管理経費を軽減する     |
| 3 | 施設や敷地などの区有財産を有効活用し、売却・貸付・テナント収入などにより建て替え・改修経費や維持管理経費を軽減する |
| 4 | 区民ニーズの変化に対しては、新たな公共施設は建設せず、今ある施設を用途変更することで建設経費を軽減する       |
| 5 | 施設使用料を見直し、受益者負担を上げることで、区が負担する運営経費を軽減する                    |
| 6 | 公共施設の複合化や施設機能の集約化を行うことで、建物の数を減らし、建て替え・改修経費や維持管理経費を軽減する    |
| 7 | 公共施設を統合や廃止することで、施設数を減らし、建て替え・改修経費や維持管理経費を軽減する             |
| 8 | その他 ( )   |
| 9 | わからない   |

問15 公共施設にかかる経費を縮減していくために、公共施設の総量を抑制していかなければならなくなった場合、あなたはどのような施設から減らしていくべきだと考えますか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

- |   |                        |   |   |
|---|------------------------|---|---|
| 1 | 建物・設備が古くなっている施設        | 6 | 近隣の自治体や民間施設と施設の機能が重複している施設（代わりに使える施設が近くにある） |
| 2 | 利用度や稼働率が低い施設           | 7 | 利用対象者が限定されている施設                             |
| 3 | 区民のニーズに合わなくなった施設       | 8 | その他 ( )                                     |
| 4 | 維持費用がかかりすぎる施設          | 9 | わからない                                       |
| 5 | 同じような施設が区内に複数配置されている施設 |   |   |

問16 建て替え時に民間資金やノウハウなどの民間活力を活用した整備や管理運営を行うことにより、更なる区民サービスの向上と経費負担の軽減を検討していく必要があります。このことについて、あなたのお考えに最も近いものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |   |                                   |
|---|-----------------------------------|
| 1 | 民間活力を積極的に活用した方がよい                 |
| 2 | 民間活力を活用する施設を限定し、最小限にとどめた方がよい      |
| 3 | 公共施設に関することは民間に任せず、すべて区が負担していく方がよい |
| 4 | その他 ( )                           |
| 5 | わからない                             |

● **町会・自治会、NPO 団体への加入状況等** に関してお答えください ●

問17 あなたは、現在、町会・自治会やNPO 団体に加入していますか。該当するものを 1つ 選び、番号に○印をつけてください。

- |                                   |                                  |
|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1 町会・自治会、NPO 団体のいずれにも加入している ⇒問18へ | 3 NPO 団体に加入しているが、町会・自治会には加入していない |
| 2 町会・自治会に加入しているが、NPO 団体には加入していない  | 4 町会・自治会、NPO 団体のいずれにも加入していない     |

※町会・自治会：古くから地縁による組織として、防犯、防火・防災、青少年健全育成、環境美化及び地域住民の親睦など、地域コミュニティの活性化や福祉の向上に区と協働して取り組んでいる団体

NPO: Non-Profit Organization (ノンプロフィット・オーガニゼーション)の略。継続的に社会貢献活動を行う非営利団体(ボランティア団体、市民活動団体、NPO 法人)のこと。

(問17で「2」～「4」と回答した方へ)

→問17-1 加入していない主な理由は何ですか。該当するものを 3つまで 選び、番号に○印をつけてください。回答後、問18へお進みください。

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1 加入したい団体があることを知らないため | 8 活動のための知識や技術がないため   |
| 2 加入方法がわからないため        | 9 一緒に活動する仲間がないため     |
| 3 加入のための手続き等が面倒なため    | 10 加入の必要性を感じていないため   |
| 4 加入するきっかけがないため       | 11 そもそも団体の活動に関心がないため |
| 5 加入しても活動のペースが合わないため  | 12 人づきあいをわずらわしく感じるため |
| 6 忙しくて暇がないため          | 13 その他               |
| 7 金銭的な負担を避けたいため       | (具体的に )              |

問18 あなたは、地域の活動をより活発にするためには主に何が重要だと思いますか。該当するものを 3つまで 選び、番号に○印をつけてください。

- |                         |                               |
|-------------------------|-------------------------------|
| 1 活動情報の積極的なPR           | 6 住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること |
| 2 若年層への参加の呼びかけ          | 7 近所の人とのつながりをつくれるようにすること      |
| 3 気軽に参加できるイベントの開催       | 8 リーダー養成や組織づくりの勉強会            |
| 4 イベントなどの企画段階からの参加のしやすさ | 9 その他                         |
| 5 地域の課題を話し合える場          | (具体的に )                       |

質問は以上で終わりです。ご協力、ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケート調査票は、返信用封筒(切手不要)に入れ、10月7日(月)までに郵便ポストに投函してください。